東海村議会報告　2023年12月号

eri-itu.com

## 4期16年間、女性の立場で生活者目線を大切に活動してきました。

地域を回る活動の中で、女性ならではの悩みを抱えている方から「あなたが女性議員だから話せます」と声を届けていただいたことがあります。それは政策に結び付きました。

やはり男性議員には相談しにくいことや分かってもらいにくいこともありますね。

**そんな時こそ、私を頼りにしてください。**

私はこれからも女性が生活しやすい、そして働きやすい環境づくりに力を注ぎます。

4期目の議会活動とこれまでの実績の一部をまとめました。
ぜひ、ご一読ください

行動！市民派

誰ひとり置き去りにしない村づくり

# あなたの声が私の原動力！

# えりいつ

## 村議会にこそ生活者の目線、女性の目線が必要不可欠です。

混沌とした今の時代、子育て・教育・医療・介護・福祉・格差など生活に密着する課題が増え続けています。**村議会は、その身近な課題を議論し私たちが安心して暮らすことのできる政策を決める、私たちに最も身近な政治です。**「政治は生活」です。そして、これらの生活に密着する課題に密接に関わってきたのは主に女性です。

### しかし、いま議会は

東海村議会では、**議論を尽くすことなく議員の数の力で物事が決まっていく**ことが多々あります。これでは、真に住民に寄添った政策決定ができるか疑問です。

村議会の膠着状態は、最大会派が議席の過半数を占めていることにありますが、**女性の議員数が少なすぎることも大きな要因**であると考えます。

村議会議員は定員18名（欠員1）。現在15名が男性議員で、そのうち5名が原子力関連の事業所や企業出身者です。

そして、**女性議員はわずか2名**です。村議会には**もっと女性議員が必要**と考えます。さらに言うならば、高齢者の立場や子育て世代、若者の考え等が反映できる**幅広い世代や性別を含め多様性**が求められています。**議会は、社会の縮図**であるべきです。

**議会にもっと女性議員を！**

そして、若者から熟年の幅広い世代を議会へ！

東海村議会議員　**恵利（えり） いつ**

東海村議会・本会議場にて

# 16年間の議会活動の成果（一部）

## 女性の感性と生活者目線をもって活動!

たれ付帽子

**◆たれ付帽子の導入**
紫外線の影響を心配したお母さんからの提案でした。当初は導入に消極的だった園においても、導入から15年経った今では普通の光景です。

**◆不妊治療の助成**
地域を回っている時に、ある女性から不妊治療について切実に訴えられました。私の気が付かないことでした。当時、村は国に先駆けて支援体制を作りました。

**◆奨学金枠の拡充**
東海村独自の奨学金制度。就学資金に加え、入学準備金など、これまでに多くの家庭に活用されています。

**◆原電通り白方小前信号待ち待避スペース**
子どもの安全を見守る男性の声が議会質問のきっかけです。行政はガードレールで対応との返答。訴え続けたことで、小さなスペースを確保しました。子どもたちの安全をしっかりと確保しています。

信号待ち待避スペース

病児病後児保育施設「るぴなす」

**◆病児病後児保育施設**
2019年5月オープン。議員活動2期目から訴え続けてきました。そして、8年前3期目を目指したときの公約に。核家族の多い、また共働き家庭の大きな支援、安心につながったと思います。

**◆みんなの食堂への取り組み**
行政も支援する意向があると答弁。小さな活動から始まりましたが、今では毎月行われています。

**◆オーガニック給食**
茨城オーガニック給食プロジェクトとしてオーガニック給食導入の要望書を村長に提出。

**◆生理の貧困対策**
コロナ禍で生理用品を入手することが困難な状況にある女の子がいることがクローズアップされました。「生理の貧困」は女性の健康や尊厳に関わるとても大切な課題です。村でも、すぐに対応しましたが、まだ課題は残ります。今後も取り組みます。

村長と教育長に要望

トイレに生理用品が設置されるようになりました

五反田線中止により守られた細浦の景観

**◆五反田線延伸計画中止**
当初予算約30億円の高架橋道路計画を景観保護と環境破壊、予算高騰を訴え中止に。数年かかりましたが、粘り強く訴え続けた結果です。この景観を守ることが議員になった理由の一つでした。

**◆高齢者ドライバーの免許証の自主返納支援**
高齢者や民生員の方などから声が届きました。担当課では自主返納支援について考えていないとのことでしたが、あきらめず議会質問で支援の必要性を訴え、支援を確保することができました。次は、新たな交通手段、サービスに取り組みます。

# 恵利いつ4期目のあゆみ

2020.3 ●減少し続ける森林緑地を守るため積極的な取り組みを求める ●誰ひとり置き去りにしない避難計画を ●**（仮）歴史と未来の交流館と文化財保護に対する取り組み** ●「自治会の活動支援に関する決議」に対する取り組み ●障がい者支援事業の廃止の反響 ●**女性の政治参加を推進することへの村の取り組み**

2020.6 ●新型コロナウイルス流行後の原電の在り方は ●新型コロナウイルス対策のこれまでとこれから ●区画整理事業、対象地区住民に丁寧な説明を

2020.9 ●原電再稼働の是非について、住民の意見を聴く取組は ●コロナ禍から考える公共施設の換気・空調は ●コロナ禍における児童生徒の学習・心身への影響 ●がん検診とアフターフォロー

2020.12 ●コロナ禍が継続する状況下、村民が交流できる環境整備は ●「むかし道」を活かすまちづくり ●**（仮称）歴史と未来の交流館の開館に向けて進捗状況は** ●困難な時こそ住民に寄り添った行政を

2021.3 ●2050カーボンニュートラル（脱炭素社会）に向けて、村の取り組む姿勢を問う ●村が緑地として所有している土地活用は ●キャッシュレス決済ポイント還元事業とは ●2月13日地震を受けて、原発に対する住民の疑問

2021.6 ●コロナ禍による子どもたちの心身への影響とそのケア ●**「重要文化財の展示、公開承認施設（博物館）を目指す」として建設した交流館の今後の取組は** ●「生理の貧困」への対応 ●「村民目線での行政が行われていない」との声があるが、村長はどのように受け止めるか

## 議会にもっと女性議員を!

■ 議会においても世代交代・新陳代謝が必要と考えています。一方、**女性議員がもっと増える必要がある**と考え、新人女性候補者を一生懸命探しました。そして候補者探しの中で、村内の素晴らしい女性の方々にお会いすることができました。どなたも地域を明るく照らす女性たちです。しかし、今回は複数の女性の方々に決心していただくまでには至りませんでした。

■ 今回お会いした素敵な女性たち、そしてこれから出会う意欲ある老若男女の方々に**引き継ぐために、ここでへこたれているわけにはいかない**と決意を新たにしました。

## 東海村議会一般質問内容 2020年3月～2023年9月

2021.9 ●キャッシュレス決済ポイント還元事業を終え、どのように評価しているか ●教育現場におけるタブレット活用の状況と見えてきた問題点は **●通学路の安全対策と歩行者にやさしい道づくりに対する村の取組状況は**

2021.12 ●原子力発祥の地、東海村長の核燃料廃棄物に対する認識は **●開館から4か月、交流館の活動状況と4割増の電気料について** ●教育支援センター「たんぽぽくらぶ」の状況

2022.3 **●子どもたちの健やかな成長のためにオーガニック（有機）給食の導入を** ●令和4年度、休止となる家庭菜園事業の今後の見通しは ●清掃センターのこれからの活用は ●広域避難計画策定について ●再生可能エネルギー導入と促進について

2022.6 ●既存公園の管理の在り方と建設中の神楽沢近隣公園整備について ●「生理の貧困」への対応と男性トイレに汚物入れを設置する取組 ●総合相談支援課はどのような体制か

2022.9 ●クリーンセンターへの可燃ごみ直接搬入の予約制導入に伴う住民への影響は ●水道事業の現状と今後の展望

2022.12 ●基礎自治体として取り組むカーボンニュートラル政策 ●火災や自然災害等に備えた防災訓練の取組 ●行政が行うアンケート調査

2023.6 **●オーガニック給食を実現するための政策** ●LGBTQ+多様な性を認め合える地域づくり ●投票率低下を改善するため何ができるか

2023.9 ●原発再稼働の判断に必須とする住民の意向把握をどのように行うのか ●「公共施設の在り方を考える」自分ごと化会議 **●歴史と未来の交流館開館2年を経ての課題は**

## そして、若者から熟年の幅広い世代を議会へ!

■私が理想とする議会は、会派（グループ）に縛られることなく議会がワンチームとなり、是々非々の議論を繰り返し、政策を決めていく**チーム東海村議会**です。

■「執行機関と一歩離れて、二歩離れず」議会は執行機関とは一歩離れて、執行機関に対して厳正に批判や監視を行い、住民の立場に立って公平で妥当な結論を見出し決定するところです。しかし離れすぎてもいけません。皆さまのお声を執行部にしっかり届けることは、議員の大切な仕事です。

■誰もが大切にされる村づくりのために、そして平穏な日々の生活を守るために、これからも皆さまの声に耳を傾け、しっかりと議会に届けます。そして、私たちの納めた税金（村の予算）の使われ方が納得できるものかどうか、しっかり注視していきます。

# 村の皆さまとともに活動

## 村の皆さまとともに取り組みました!

天神山清掃でのゴミ

子どもたちに残そう緑の遺産

### 自然のみどりを守る会

「村が行っている観察や調査だけでは里山の自然は荒廃していく。何か行動しなくてはならない」との思いから、2008年に「自然のみどりを守る会」を有志で立ち上げました。豊かな自然環境を子どもたちに残していくため、不法投棄ゴミの回収や下草刈りなどの里山保全活動はじめ観察会などを実施しています。環境フェスタにも出展しています。主なフィールドは押辺ため池いこいの森で、村のヘルスロードが通っています。

### 県内一低い三角点のある天神山整備

茨城県内で一番低い三角点のある天神山。登り口辺りは、長年にわたり不法投棄されたゴミの山でした。有志で始めた清掃では、約4か月間で燃えるゴミ250袋のほかに大量のがれきが出ました。その後13年間保全活動を続けています。今では、村外からも登山客が訪れています。

### 歴史と未来の交流館建設計画の見直しを求めました

2019年6月

建設予定地前で住民の皆さんと訴えました。歩行者から激励を受けました。

住民有志の皆さまが村内を歩き、3週間足らずで2175名分の署名が集まり、村長に提出。最終的には3000名弱の署名が集まりました。しかし、計画は見直されることなく建設に至りました。計画段階で太陽光発電システムの設置を提案しましたが、導入に至りませんでした。ちなみに令和4年度の光熱費は2380万円（役場3190万円、中学校2校合計2490万円）です。しかし、建設したからには住民にとって有用な施設であるようにこれからもしっかり見届けます。

村長に署名を届けました

完成した歴史と未来の交流館

### NPO真砂山FUNクラブでは、村松海岸清掃大作戦を行っています。

11月25日は3回目の作業日。企業の参加もあります。プラごみがマイクロプラスチックに変わっていく現実が村松海岸にもあります。

# えりいつ は、東海村の未来のために、前進し続けます!

## 高齢者にやさしいまち・子どもにやさしいまち
## 障害のある人にやさしいまち・妊婦さんにやさしいまち
## 困っている人にやさしいまちは …… みんなにやさしいまち

＊ コロナ禍により、様々なことが制限される中で思ったことは、やはり人と人の交流の大切さでした。「人間」という文字が表すように、人は人の間にあって喜怒哀楽を重ねながら老いていくことが「幸せ」なことだと思います。**歩いて行けるところに**高齢者から子ども、子育て世代、障害のある人、引きこもっている人も**だれもが気楽に集える場**が必要と考えます。

＊ 弱い立場の人に寄添った村づくりをこれからも進めます。

## 子育てしやすい支援体制づくりと教育環境の充実をさらに進めます

＊ **オーガニック給食の推進と給食の無償化**を求めてきました。学校給食は**義務教育の一環**であることからも無償化すべきです。「東海村オーガニック給食プロジェクト」をすでに立ち上げ、成長する子どもたちの健康のためこれからさらに力を尽くします。また、地産地消で新鮮な有機（オーガニック）食材が提供できるように、村内で**有機栽培農家を増やすための支援体制づくり**が必要と考えています。

＊ 3期目の公約だった病児病後児保育施設として、2019年「るぴなす」が開設。誰もが安心して子供を産み育てられる環境整備をさらにすすめます。

＊ 「みんな違ってみんないいんだよ」と、お互いの個性を認め合う寛容な心を育む教育を求めます。

＊ LGBTQ+ を含む**すべての人がありのままの自分**で暮らせる地域社会を目指します。

## 安心して住み続けられる魅力ある東海村をつくるために

＊ **3.11フクシマ第一原発事故を経験した以上、「原発」に厳しくあるべきと考えています。**それが**住民の皆さまの命と財産を守る**ことであり、また、**原発で働く人たちの安全確保につながる**と考えています。

＊ 18歳から選挙権が与えられました。しかし、政治教育（主権者教育）が不十分なまま選挙権を与えられても若者は戸惑っていると考えます。私は、東海村を若者に魅力あるまちとするために若者議会を開催し、若者の声が届くまちづくりを提案してきました。村もようやく動きそうです。まずは、子どもたちの議場見学を企画します。

＊ 村内の自然環境を守りたいと思い、私が緑地保全活動を始めて20年弱。この間、村内は開発が進み自然緑地は減少しました。一方、**緑地保全や環境保全活動の輪が広がっています。**しっかり応援していきます。

＊ **女性が議員に立候補しやすい環境づくり**を一緒に考えましょう。

議員のジェンダーギャップは??
男女の性差によって生じる格差のことをジェンダーギャップと言います。日本のジェンダーギャップ指数は、調査対象となった146カ国中125位（前年調査116位から後退）、政治の世界にかぎって男女格差を見てみると、世界190カ国中165位と、さらに低くなっています。これでは日本が元気になれません。

### 恵利いつ プロフィール

●議員活動のいろいろ
- ひたちなか･東海広域事務組合副議長
- 東海第二原発の再稼働に反対する茨城県自治体議員連盟監事（超党派議員）
- 日本自治創造学会会員
- 自治体問題研究所講座受講生
- 多摩住民自治研究所会員
- 市川房枝記念会女性と政治センター講座受講生
- 茨城オーガニック給食プロジェクトメンバー

●地域ボランティア活動
- 自然のみどりを守る会副会長
- 精神保健福祉ボランティア東海ぴあ♡
- 東海オーガニック代表給食プロジェクト代表
- カフェで語ろうまちづくり イマジンカフェ代表
- NPO法人真砂山FUNクラブ会員

ピンクリボンは乳がん啓発運動のシンボルイメージです

えりいつ

東海村議会議員 えり いつ
tel 090-7801-6818
後援会事務所：東海村大山台1-19-18（舟石川）
https://eri-itu.com


討議資料